

# 環境に係る情報協議会

## 国営緊急農地再編整備事業 岩見沢大願地区

### 1. 環境に対する考え方

(「岩見沢市田園環境整備マスタープラン」から)

#### 《農村環境の現状と課題》

##### 【現状】

岩見沢市は、中央部に市街地があり、東部の夕張山地と連なる山地から、西部の石狩川左岸に広がる低平地にいたるまで、多様な自然に恵まれている。このため、そこに生息する動物や植物の種類も豊富である。また、西部の低地帯には多くの湖沼が見られ、魚類をはじめ底生動物も豊かである。

##### 【課題】

河川整備等により、かつてはいたるところで見られた「イトヨ」などが減少しており、今後は環境に配慮した水辺環境の整備が重要である。

#### 《環境保全の基本的考え方》

○山地から湖沼に至る恵まれた自然環境とそこに生息する多様な生物を総合的に保全するため、自然環境に配慮した整備を行う。

○生産性の向上を図り、地域農業を担う農業者の確保、環境にやさしい農業を推進するとともに、美しい景観を保全するため、環境に配慮した整備を行う。

### 2. 環境配慮のための環境調査

#### 《基本方針》

本地区の環境は、地区内を流下する排水路及び隣接する耕地防風林により、地域の水辺環境・緑のネットワークを形成している。

これらを踏まえ、以下の区域において、環境調査を実施する。

#### 【動植物の生息・生育調査】

耕地防風林と隣接する排水路周辺区域において、動植物の生息・生育状況を把握し、得られた結果の整理・分析を行う。

#### 【水質状況調査】

工事実施中における水質への影響の有無を確認するため、工事実施前のデータ収集として、地区下流の集水路で水質調査を実施する。

#### 《環境調査内容》

○調査項目 ①ほ乳類 ②鳥類 ③魚類 ④両生・は虫類 ⑤昆虫類  
⑥底生動物 ⑦植物 ⑧水質

○調査方法  
ほ乳類 : 目撃法、フィールドサイン法  
鳥類 : ラインセンサス法、定点観察法  
魚類 : 採捕調査  
両生・は虫類 : 目撃法  
昆虫類 : 任意採集法、ベイトトラップ法  
底生動物 : 定性採集法  
植物 : 植物相調査  
水質 : SS、濁度